

平成27年度小学校区健康課題分析一覧表

校区	現 状	健康課題等	平成28年度事業計画(案)
波多江	<ul style="list-style-type: none"> 人口が一番多い校区である。 マンション・アパートが多く、5年未満の居住期間が32.2%と市平均(21.5%)と多く、転出入が多い傾向にある。 就業状況から社会保険加入者、退職国保加入者が多いと思われる。 若い世代が多く、早からの生活習慣病予防対策が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診、特定健診の受診率が低く、自身の健康状態の自覚しにくい。 特定健診結果では、肝機能、腎機能、尿酸値が市平均より高く、高血糖や高脂質の割合が6割と高い。 問診結果では、好ましくない食生活、飲酒、喫煙習慣の割合が市平均より高く、運動、睡眠習慣の割合も好ましくない。 	<ol style="list-style-type: none"> 校区健康づくり講座「セカンドライフ(退職後の生活)を生き活きと！～血管を傷つけない生活スタイルへ～」の開催 生活習慣病重症化予防対策 特定健診・がん検診受診率向上対策
東風	<ul style="list-style-type: none"> 人口が増加傾向にあり、高齢化率が19.6%(市平均25.9%)と市内で2番目に低く、子どもの割合17.3%(市平均13.6%)が多い。 就業状況から社会保険加入者、退職国保加入者が多いと思われる。 単身世帯の状況は市内で一番高く、65歳未満の単身世帯の割合が市内で一番高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、BMI、尿酸値の数値が市平均より高い。 問診結果では、20歳時から体重が10kg以上増加した割合が35.0%(市平均31.7%)と市内で一番高く肥満の傾向が高い。 母数が少ないデータではあるが、日常生活ニーズ調査結果では、運動機能のリスクが高い高齢者の割合が市平均より少し高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 活動量を増やすための運動支援(歩数計による活動継続支援)の実施 課題に応じた校区健康づくり講座の開催 特定健診・がん検診受診率向上対策
前原	<ul style="list-style-type: none"> 人口が増加しており、高齢化率も21.6%と市平均25.9%より低い。 第三次産業従事者が76.6%(市平均69.5%)と市内で二番目に多い。 特定健診受診率は市平均より高いが、平成26年度は前年度受診率を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、腎機能(尿蛋白、GFR)の数値が悪い。 問診結果では、運動習慣のない人の割合が高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 運動教室の開催「適切な運動習慣を身につけよう」 課題に応じた校区健康づくり講座の開催 特定健診・がん検診受診率向上対策
前原南	<ul style="list-style-type: none"> 人口は市の中で4番目に多く、高齢化率25.4%は市平均25.9%と同程度である。 自宅での就業は6.8%(市平均14.0%)と少なく、市内での自宅外就業42.7%(市平均37.2%)と多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、血管を傷つける、動脈硬化の原因となる検査項目の値が市の平均より高く、特に尿酸値とLDLコレステロールの基準値を超える割合が市内で2番目に高い。 生活習慣問診結果では、飲酒の習慣項目は市平均前後である。 	<ol style="list-style-type: none"> 動脈硬化予防教室の開催(自分の健康状態を自覚し、健康増進に向けた行動変革) 特定健診・がん検診受診率向上対策
南風	<ul style="list-style-type: none"> 人口が増加しており、高齢化率は16.0%と市内で一番低く、子どもの割合が18.2%(市平均13.6%)と多い。 第一次産業従事者が2.6%(市平均8.9%)と市内で一番少なく、第3次産業従事者が76.96%(市平均73.4%)と市内で一番多い。 国保加入率は、21.0%(市平均33.0%)と市内で一番少ない。 介護認定率が12.3%(市平均15.7%)と低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、臓器障害となる腎機能(GFR)の数値が18.7%(市平均16.9%)と高い。 貧血の既往歴がある人、脂質異常症の服薬中の人、の割合が多い。 問診結果では、生活習慣改善の取り組んでいる人の割合が33.7%(市平均28.5%)と高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 若い世代からの食生活改善対策(親子クッキング教室) 課題に応じた校区健康づくり講座の開催 特定健診・がん検診受診率向上対策
加布里	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率が30.6%と3割を超えている。 ここ6年の高齢化の伸び7%と市平均4.7%を上回っている。 居住期間が出生時からと20年以上からとで、48.2%と5割近くを占める。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、摂取エネルギーの過剰(腹囲、中性脂肪)、血管を傷つける検査項目(空腹時血糖、HbA1c、収縮期血圧)の数値が年々上昇している。 糖尿病、高血圧症の服薬中の人、の割合が市平均より高い。 心臓病の既往歴がある人の割合が市の平均より高い。 日常生活ニーズ調査結果では、認知等の項目以外の項目で市平均を上回っている。 	<ol style="list-style-type: none"> 校区健康づくり講座(いきいきミセス教室との合同開催)の開催 特定健診・がん検診受診率向上対策

校区	現 状	健康課題等	平成28年度事業計画(案)
長糸	<ul style="list-style-type: none"> 人口が市内で一番少なく、高齢化率が32.2%と市内で3番目に多い。(市平均25.9%) 自宅での就業率が31.1%(市平均14.0%)と高く、市外での就業率が29.2%(市平均47.7%)と低い。 居住期間は、出生時からと20年以上で69.8%(市平均41.2%)と高い。 第一次産業従事者の割合が26.1%(市平均8.9%)と市内で一番高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の結果では、肥満の傾向があり、ATL(肝機能)、HbA1c、尿酸、収縮期血圧の数値が市平均より高い。 介護認定者の割合20.7%と市平均(15.9%)と高い。特に、要支援2の割合(5.1%)と市平均2.8%より高い。 母数が少ないデータではあるが、日常生活ニーズ調査結果では、栄養、閉じこもりの項目以外で、市平均を上回っており、特に運動機能、口腔機能の低下、うつ傾向が認められる割合が高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 認知症の予防や理解のための教室の開催 特定健診・がん検診受診率向上対策
雷山	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率は27.3%と市平均(25.9%)を少し上回っている。 第一次産業従事者、第二次産業従事者ともに市平均を上回っているが、特に第二次産業従事者の割合22.9%(市平均17.6%)は市内で一番高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 問診結果では、1年間で体重の増減が3kg以上の人の割合が25.8%(市平均22.0%)と高い。 血管を傷つける項目(空腹時血糖、HbA1c)、動脈硬化の原因となる項目(LDLコレステロール)の値が高い。 母数が少ないデータではあるが、日常生活ニーズ調査結果では、全ての項目が市平均を上回っており、特に生活機能、閉じこもりのリスク割合が高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 糖尿病重症化予防対策対策(リスクが高い人への個別訪問) 認知症予防教室の開催 特定健診・がん検診受診率向上対策
怡土	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率が33.8%と市平均(37.1%)より低下した。 高齢化率が31.6%と高く、若い年齢層が減少している。 高齢者のみの世帯も17.5%と市平均15.5%を上回っている。 高齢化率が高いにもかかわらず、要介護認定率は14.9%(市平均15.7%)と低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、血管を傷つける検査項目の有所見割合が高く、特に、HbA1cが高く、健診受診者の約7割に所見がある。 高血圧症治療の内服中の人割合が市内で一番高く、糖尿病の内服割合は14番目と低い。 問診結果では、生活習慣改善意欲のない人の割合が市平均より高く、生活改善を始めている人の割合も低い。 	<ol style="list-style-type: none"> 糖尿病重症化予防対策「糖重症化予防訪問」 糖尿病重症化予防としての健康づくり講座の対策 動脈硬化等のリスク状態にある人への訪問事業
一貴山	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率が38.8%と市内で一番高い。 高齢化率は32.1%と市内で4番目に高い。 高齢者のみの世帯も19.8%と市平均15.5%を上回っている。 第一次産業従事者が14.2%(市平均8.9%)と高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、内臓肥満や糖尿病、高血圧の値が高い。 介護認定率17.5%と市平均(15.5%)より高く、特に要介護1・2の割合6.6%(市平均4.8%)が高い。 母数が少ないデータではあるが、問診結果では食事の速度の早さや夕食後の間食の割合が高く、日常生活ニーズ調査結果では、口腔機能の低下の割合が高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 糖尿病予防や理解のための健康づくり講座の開催 糖尿病重症化予防事業(リスクが高い人への個別訪問) 特定健診・がん検診受診率向上対策
深江	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率が38.6%(市平均37.1%)と市内で2番目に高い。 高齢化率は30.4%と3割を超えている。 高齢化率に比べて、サロンの実施率が低い。 高齢者のみの世帯も20.5%と市平均15.5%を上回っている。 第二次産業従事者数が20.0%と市内で二番目に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、血管を傷つける検査項目(空腹時血糖、HbA1c)と血圧に課題がある人の割合が高い。 摂取エネルギー過剰の数値(腹囲、中性脂肪)が市平均より、高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 糖尿病予防をメインとした健康づくり講座の開催 糖尿病重症化予防対策(リスクが高い人への個別訪問) 特定健診・がん検診受診率向上対策
福吉	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率が34.5%(市平均25.9%)と市内で一番高い。 高齢者のみの世帯も21.6%と市平均15.5%を上回っている。 居住期間は、出生時からと20年以上で56.5%(市平均41.2%)と高い。 第一次産業従事者が19.7%(市平均8.9%)と高い。 サロン実施率が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、内臓肥満の人の割合が市の平均より高い。 介護認定率が18.6%と市平均(15.5%)より高い。 問診結果では、飲酒の習慣がある人の割合が62.3%(市平均53.5%)と高く、また1～3合の飲酒が30.3%(市平均24.9%)と多い。食事の速度の早さも多い傾向にある。 	<ol style="list-style-type: none"> 内臓肥満をテーマとした健康づくり講座の開催 特定健診・がん検診受診率向上対策
可也	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率は26.6%と市平均25.9%を少し上回っている。 就業地、居住期間等はほぼ市平均と同程度であるが、第一次産業従事者数は12.3%と市平均(8.9%)より高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診結果では、摂取エネルギーの過剰(腹囲の基準値以上)の割合が市内で一番多い。 問診結果では、多くの項目で市平均を下回っている。 	<ol style="list-style-type: none"> 特定健診新規受診者結果説明事業の実施 課題に応じた校区健康づくり講座の開催 特定健診・がん検診受診率向上対策

校区	現 状	健康課題等	平成28年度事業計画(案)
桜野	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率は31.5%と3割を超えている。 ・居住期間は、出生時からと20年以上で67.2%(市平均41.2%)と高い。 ・第一次産業従事者が24.8%(市平均8.9%)よりかなり高い。 ・国保加入率が47.7%(市平均33.0%)と市内で一番多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定率が19.4%と市平均(15.5%)より高い。 ・母数が少ないデータではあるが、日常生活ニーズ調査結果では、市の平均を下回っている項目が多いが、認知機能について数値が高い。 ・問診結果では、喫煙、飲酒習慣の割合や、就寝前の食事の割合が高い。 ・特定健診結果では、摂取エネルギーの過剰(腹囲、中性脂肪)の数値が市平均より高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 メタボ改善のための個別支援(訪問や電話等)の実施 2 課題に応じた校区健康づくり講座の開催 3 特定健診・がん検診受診率向上対策
引津	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率は33.9%と市内で2番目に高い。 ・居住期間は、出生時からと20年以上で61.72%(市平均41.2%)と高い。 ・第一次産業従事者が21.1%と市平均(8.9%)より高い。 ・国保加入率が43.3%(市平均33.0%)と市内で2番目に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問診結果では、喫煙、飲酒習慣や飲酒量、就寝前の夕食、朝食抜きの割合が高い。 ・日常生活ニーズ調査結果では、うつの項目が少し市平均より高い以外の項目で市平均を下回っている。 ・特定健診結果では、血管を傷つける項目(HbA1c、収縮期血圧)の値が高い人の割合が市平均より高い。 ・摂取エネルギーの過剰(腹囲、BMI、中性脂肪)の数値が市平均より高い。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 血圧を下げるための個別支援(訪問や電話等) 2 血圧を下げるための健康づくり教室の開催 3 特定健診・がん検診受診率向上対策